

# 平成 30 年度黒部市議会報告会報告書

## 1. 開催概要

- 1.日時 平成 30 年 7 月 23 日（月）午後 7 時～午後 8 時
- 2.場所 黒部市庁舎 202・203 会議室
- 3.出席人数 28 名

## 2. 報告内容

※報告の詳細は別添の PDF 参照

1) 開会挨拶 伊東 景治議長

2) 議会改革特別委員会報告  
辻 靖雄委員長

3) 常任委員会報告

①総務文教委員会 中村 裕一委員長

②生活環境委員会 辻 泰久委員長

③産業建設委員会 村井 洋子委員長

4) 特別委員会報告

①総合交通対策特別委員会  
小柳 勇人委員長

②立山黒部ジオパーク促進特別委員会  
成川 正幸委員長

③第 2 次総合計画振興計画検討特別委員会  
山内 富美雄委員長



### 3. 一括質疑及び意見交換会

①

Q、(田家)道の駅建設に対してであるが、建設に際してそこに国交省の出張所でも出来るのか。

A、(産業建設委員長) 国が案内所を作る。

Q、(田家)場所的に国道8号線から見えにくいと思うが誘導をどう考えているのか。

A、(産業建設委員長) 国道8号線からスムーズに入れる誘導道路について議員から質問もあったのだが、市当局の答弁は国が行う事業なので、市では考えていないとの事であった。

②

Q、(三日市)誘致ゾーンについて、高橋川の向こう側に総合体育センターの総合公園があり、橋を作り、車とまでは行かなくても、せめて歩行できるように出来ないか。

A、(産業建設委員長) 市へ要望しておく。

③

Q、(前沢) 総合交通について、コラーレ前を走る新幹線市街地線は、空気を運んでいると言われているが実態は。

A、(総合交通対策特別委員長) 持続可能な利便性についてなど検討していかなければならない。国の助成を受けながら運行しているものもある。

利用実績について市当局より実績のとりまとめ表をいただいているので、時間の関係上、希望されるのなら後で渡す。

④

Q、(田家) 第2次総合振興計画についてのパブリックコメントを、どう評価しているか。

A、(第2次総合振興計画検討特別委員長) みの丈にあつたまちづくりは必要と思っている。

Q、(田家) パブリックコメントについてホームページにも出ているが、もっとわかるように回答をしてほしい、これは要望である。

A、(第2次総合振興計画検討特別委員長) そのように市当局へ申し入れしたい。

⑤

Q、(三日市) ジオパーク、公共交通、オリンピック合宿誘致といろいろ説明を受けたが、夢を与えるのはとても良いとは思う。そんなことをやっていると本当に黒部は大丈夫か。やめてみる、無駄なことはしないという選択技があってもよいのでは。

別に回答はいらない。

A、(議長) 無駄かどうかは、すぐに結論が出る問題ではない。

ジオパークについては糸魚川はたしかに素晴らしいし、1市でやっている。

立山黒部ジオパークは、4市4町1村の9自治が関わっており、もう少し長い目でみてほしい。

議会としてチェックしながら進めていく。

⑥

Q、(議会側から)(仮称)くろべ市民交流センターについて、どう思っているか。

A、(三日市) 地域によってとらえ方が違うと思う。三日市は多いに作って欲しい。

A、(田家) 内容について、地域によっていろいろな考え方がある。その調整をどうするかだと思う。答えは知らない。

検討委員会の様子はホームページを読めばわかる。議会もどんどん発信してほしい。

#### 4. 議会報告会を終えて

今回の議会報告会では、議会だよりの発行前の開催ということもあり、議会だよりを使用せず、パワーポイントのみを使用して、各委員会からの報告を行った。報告ではホームページに掲載した予算特別委員会の映像を流すなど、よりわかりやすい報告となるようにそれぞれの委員会で心がけた。また、各委員会の報告時間にもメリハリをつけ、関心の高い議会改革と3常任委員会の報告時間を充実させた。

一括質疑・意見交換では、出足は意見があまり出なかったものの、最初の方が発言した後には次々と意見が出て、多くの方と様々な内容について質疑や意見交換ができた。意見交換での参加者の意見は今後の議会運営にとっても、今後の議会報告会の開催にとっても、重要であり、意見が出し易い雰囲気作りに努めることが大切であると感じた。

開催ごとに参加者が減ってきていることもあるので、今回の報告会に関するアンケートと過去3回のアンケートを分析し、より市民の皆さんにとって有意義な報告会となるよう、開催に向けた協議を今後行っていきたい。